

# 名古屋港の港湾機能の強化に関する要請書



平成 26 年 8 月

名古屋商工会議所  
名古屋港振興協会  
名古屋港利用促進協議会  
名古屋海運協会  
名古屋港運協会  
東海倉庫協会

## 名古屋港の港湾機能の強化に関する要請

日頃は、名古屋港の発展のために、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

名古屋港は、コンテナ貨物、完成自動車、バルク貨物など幅広い貨物を扱う**国際総合港湾**として、平成25年の総取扱貨物量が2億824万トンと12年連続で、また、貿易額は16兆3,103億円と4年連続で全国港湾において第1位の座を占めております。

特に、我が国の平成25年貿易収支は3年連続の赤字となり、貿易赤字が11.5兆円と過去最大に転じる中、名古屋港においては、5.8兆円の貿易黒字と16年連続で日本一を記録し、外貿コンテナ取扱個数も約253万TEUで国内第3位と、国際戦略港湾とも肩を並べるなど、当地域のみならず我が国の海の玄関として着実な成長と発展を続けております。

こうした中、名古屋港は、日本経済を牽引するモノづくり産業を物流面で支える「**国際産業ハブ港**」として、今後さらに国際競争力を備えた利用しやすい港となるよう整備していくことが大変重要であり、港湾機能の強化・拡充が必要不可欠であります。

一方、当地域におきましても今後予想される東海・東南海・南海地震や南海トラフ巨大地震等への災害対応力の強化が求められております。とりわけ、名古屋港の生産・物流機能が地震や津波により麻痺することは、我が国経済に深刻な影響を与えかねず、港湾の防災機能強化が喫緊の課題となっております。

また、今後急激な進行が懸念されている施設の老朽化に対しても、予防保全の観点から踏まえた老朽化対策を早急に進める必要があります。

つきましては、平成27年度の予算編成に当たりまして、下記事項につき、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

## **1. 「国際産業ハブ港」の実現を目指すため、完成自動車及びコンテナ取扱機能を強化するとともに国際バルク戦略港湾施策を推進し、日本一の港にふさわしい位置付けと支援を図ること**

- 完成自動車取扱機能の金城ふ頭への拠点化・集約化及び自動車専用船（PCC船）の大型化に対応した施設の整備
- 飛島ふ頭東側における一体運営に資するコンテナ取扱機能の強化
- コンテナ船の大型化に対応した東航路の増深
- アクセス性向上に向けた進入道路等の整備
- 国際バルク戦略港湾施策の推進に向けて、特定貨物輸入拠点港湾の指定、国際コンテナ戦略港湾と同等の取扱い及び民間事業者へのさらなる支援
- 庄内川泊地の浚渫、継続的・安定的な土砂処分場の確保

## **2. 安全・安心を備えた港湾を実現するために、総合的な防災機能の強化や予防保全の観点を踏まえた施設の老朽化対策の加速を図ること**

- 大規模災害に備えた高潮防波堤の機能強化
- 高潮防波堤と一体となった「多重防護機能」の強化を目指した防潮壁の液状化対策や堀川口防潮水門、中川口通船門の防災機能の強化
- 防潮扉の軽量化や自動化・遠隔操作化等による防災機能の強化
- 大江ふ頭（耐震強化岸壁）をはじめとする港湾施設の老朽化対策（予防保全）の促進
- 地震時における航路機能確保のためのポートアイランドの強化策の実施
- 防災・老朽化対策に係る予算や補助制度の拡充

## **3. 中川運河において、都市と一体となって、水・緑・生き物に親しめる水辺空間を形成するため、緑地の整備促進を図るとともに、水質改善施策の推進を図ること**

- 松重排水機場の改修や、堀止地区の深場の埋め戻し等の整備
- 中川運河（堀止地区）の緑地の整備

平成26年8月

名古屋商工会議  
会頭 岡谷篤



名古屋港振興協  
会 会長 藤森利雄



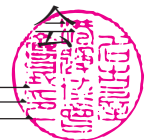
名古屋港利用促進協  
議 会 会長 高橋治朗



名古屋海運協  
会 会長 小澤敏也



名古屋港運協  
会 会長 後藤正三



東海倉庫協  
会 会長 白石好孝



# 名古屋港要望箇所

